

# 平成 28 年度サテライト梨花の里アスピア事業報告書

## 1 事業内容

地域密着型特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設） 定員 29 名  
短期入所生活介護（空床利用型）  
介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

## 2 運営方針及び事業目標について

アスピアの平均介護度は 3.61 である（平成 29 年 3 月 31 日現在）。

入所率は特養部門で 97.4%、短期入所（予防を含む）部門では 1.4%、合計利用率としては 98.8%であった。

入所者にとって、より良い生活となるよう職員の質や環境など様々なケアの向上に努め、各部署が連携を図りながら以下の生活支援を行った。

食事については、栄養士と調理員を中心に季節毎の行事食、バイキング料理、毎月の食事作り等、1年間を通して食への楽しみを感じていただけるよう取り組んだ。

科学的介護の実践から学習理論を基に入所者の経口摂取の維持に取り組んだ。食事摂取困難な方が徐々に経口摂取できるようになったが、常食化への移行には至らなかった。

また、日中トイレ、ポータブルトイレでの気持ちの良い排泄は継続し取り組んだ。

認知症ケアの専門的知識を活かしたケアへの取り組みでは、御家族の意欲的なケアへの協力があり、職員が定期的にケアを見直し取り組んだことによって、周辺症状（BPSD）の軽減に努めることができた。

入所者の体調管理においては、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の蔓延もなく、主治医と協力した健康管理を行った。

看護職員と介護職員は相互に連携を取りながら、入所者の体調を把握し早期対応に努めることができた。

看取り介護の実施にあたっては、アスピアでの最期を望まれる御家族も増えており、体調管理だけではなく、日常より入所者、御家族の思いを汲み取りながら施設全職員が一人ひとり寄り添ったケアを行っていきけるよう徹底することが今後の課題となってくる。

### 3 介護福祉施設入所状況について

#### (1) 要介護度別入所者延べ人数

	要介護 度 1(日)	要介護 度 2(日)	要介護 度 3(日)	要介護 度 4(日)	要介護 度 5(日)	合計(人)	平均 (人)	利用率 (%)
H27 年度	1,324	968	2,741	3,059	2,303	10,395	28.4	97.9
H28 年度	1,061	455	2,386	3,991	2,421	10,314	28.2	97.4

#### (2) 入所状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)
豊北町	7	19	26
豊浦町	0	1	1
豊田町	0	0	0
その他	0	1	1
合計(人)	7	21	28

#### (3) 年齢別の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
～69 歳	1	0	1	3
70～79 歳	1	2	3	11
80～89 歳	4	6	10	36
90～99 歳	1	12	13	47
100 歳～	0	1	1	3
合計	7	21	28	100

最高年齢	
男	93 歳
女	100 歳
最低年齢	
男	67 歳
女	72 歳
性別平均年齢	
男	81.1 歳
女	90.4 歳
平均年齢	88.1 歳

(4) 入退所の状況

退所者

No.	退所日	退所理由
1	平成 28 年 4 月 12 日	入院により
2	5 月 10 日	入院により
3	7 月 21 日	死亡（施設にて）
4	11 月 8 日	長期入院により
5	12 月 16 日	死亡（病院にて）
6	12 月 21 日	死亡（施設にて）
7	平成 29 年 3 月 25 日	死亡（施設にて）

入所者

No.	入所日	待機場所
1	平成 28 年 5 月 1 日	老健
2	6 月 14 日	養護
3	7 月 29 日	在宅
4	12 月 1 日	在宅
5	平成 29 年 1 月 18 日	老健
6	1 月 30 日	老健

(5) 日常生活の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食事	自立	5	14	19	68
	一部介助	1	1	2	7
	全面介助	1	6	7	25
排泄	自立	1	0	1	3
	一部介助	2	11	13	47
	全面介助	4	10	14	50
入浴	一般浴	4	6	10	36
	中間浴	2	9	11	39
	特浴	1	6	7	25

(6) 給食の状況(平成 28 年度)

ア 栄養量等の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食 1 日単価)
1 日当たりの平均栄養量及び給食単価	平成 28 年度予定	1400	680 円
	平成 28 年度実績	1435	650 円

イ 保存食の状況

保存時間	336 時間	保存方法	-20℃以下冷凍保存
------	--------	------	------------

ウ 食事時間と検食

区 分	食事時間	検食時間	検食者
朝 食	8:00	7:30	当直者
昼 食	12:00	11:30	介護職員
夕 食	18:00	17:30	介護職員

4 平成 28 年度に行った主な行事

行 事 名	実施月	内 容
お花見	4 月	妙法寺に桜を見に行った。
豊北吹奏楽団演奏会	4 月	豊北生涯学習センターにて豊北吹奏楽団の演奏を聴いて過ごした。
お花見会	4 月	地域交流スペースでお花見をしながら食事をして過ごした。
滝部小学校運動会見学	5 月	入所者と一緒に運動会を見学し応援した。
家族会	6 月	入所者と家族と意見交換を行い、昼食を一緒に摂ってもらった。午後は喫茶で入所者、家族と一緒に過ごされた。
陶芸教室	7 月	陶芸講師をお招きして入所者、職員とで一輪挿しを作った
夏祭り	8 月	梨花の里と合同で夏祭りを行った。施設代表で出し物をして歌や踊りを楽しんだ。

夕涼み会	9月	入所者、職員と地域交流スペースにてバーベキューを囲み夕食を共にした。
梨花の里敬老会	9月	梨花の里と合同で梨花の里地域交流スペースにて来賓を招いて記念品の贈呈や藤由会によるお祝いの演芸を鑑賞した。
アスピア敬老会	9月	アスピア地域交流スペースにて美扇会による舞踊の披露や職員のハンドベル演奏でお祝いした。
下関市老人福祉施設 交流演芸大会	10月	菊川アブニールでの演芸大会に梨花の里と一緒に参加し、舞踊や寸劇、合唱を観覧した。
外食・外出支援	10月 11月	ユニット毎で角島、豊北道の駅、滝部資料館に行った。
ほうほく文化祭	11月	生涯学習センターに行き、豊北吹奏楽団と豊北高校吹奏楽部による合同演奏会を見に行った
芋掘り	11月	豊北こども園園児を招き、畑で園児と入所者、職員と一緒に芋掘りをして交流を図った。
居酒屋バイキング	11月	調理員が中心となって、入所者と職員と一緒に夕食を作りバイキングを行った。
アスピア クリスマス会	12月	豊北こども園園児を招いて入所者と園児との交流を図った。
クリスマス バイキング	12月	調理員が中心となって昼食にバイキングを行い、入所者と一緒に食事を楽しんだ。
餅つき会	12月	入所者、職員とで正月用の餅つきを行い、一緒に餅入りぜんざいを食べた。
書き初め大会 鏡開き	1月	地域交流スペースにて書き初めを行い、職員と一緒に正月餅をぜんざいにして食べた。
節分会	2月	鬼に扮した職員が各ユニットを回り、入所者と豆まきを行った。
うどんバイキング	2月	地域交流スペースでうどんバイキングを行い、職員と一緒に食事した。
消火避難訓練	11、2月	日中と夜間想定の通報・消火・避難訓練を豊浦西消防署豊北出張所員立ち合いの下、運営推進委員と地域住民の協力を得て行った。
入所者・職員懇談会	7、11、3 月	ユニット毎に2度、全体として1度行った。
喫茶	毎月 第2火曜日	ボランティア主体で行った。

ユニット行事	ユニット毎に随時	10月、11月はユニット毎で角島、豊北道の駅、滝部資料館に行った。12月にはユニット毎に職員から入所者へクリスマス会、忘年会を行い一緒に食事やゲームをして楽しんだ。
レクリエーション	毎日	地域交流スペースで、書道、カラオケ、体操、手芸、ボール投げ等を行った。
食事作り	毎月	調理員が中心となり入所者の作りたいメニューを考えて入所者・職員とで昼食を作り一緒に食べた。
法話	毎月	浄土宗5カ寺の副住職により梨花の里と交互に1年間行った。
美容の日	毎月	毎月入所者の希望に応じ散髪をした。9月は敬老のお祝いで無料ボランティアを行った。

## 5 その他の事業

### (1) 短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

	要支援 1(日)	要支援 2(日)	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計 (日)	利用 率(%)	空所に対す る利用率 (%)
H27 年度	0	16	23	22	41	0	3	105	0.9	47.7
H28 年度	0	12	32	37	69	3	0	153	1.4	56.6

### (2) 要介護認定調査業務(下関市委託業務)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	4

## 6 家族の面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日 平均
人数	127	211	140	189	223	182	161	145	172	182	133	138	2003	5.4

※延べ人数

7 職員体制について(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	現員 (人)	平成 28 年度中における異動等		
		退職者 (人)	採用者 (人)	異動者 (人)
施設長	1(1)			
事務職員	1			
生活相談員	(2)			
看護職員	1(1)			
介護職員	13(4)	2		3(1)
介護支援専門員	(2)			(1)
機能訓練指導員	0			
栄養士	0			
調理員兼務介護職員	1			
常勤パート (看護職員)	0			
〃 (事務員)	0			
〃 (介護職員)	1			
〃 (介護職員兼調理員)	1			
〃 (栄養士)	1			
〃 (調理員兼務介護職員)	2			
非常勤パート (看護職員)	2(1)			
〃 (介護職員)	1(1)			
〃 (栄養士)	0			
〃 (調理員)	0			
〃 (機能訓練指導員)	(1)			
嘱託医師	1			
合 計	26 (13)	2		3(2)

( )の数字は施設内他職種との兼務若しくは本体施設梨花の里との兼務を示す

## 8 職員の会議

会議名	開催月	内容
職員会議	4、6、8、10、1、3月	連絡事項や研修の複伝、施設内研修を行った。
運営会議	毎月	施設経営、運営に関する会議を行った。
リーダー会議	毎月	行事確認、給食、入所者処遇会議等を行った。
ケアプラン会議	毎月	各職種が集まり介護力向上の理論を盛り込んだケアプランの検討を行った。
質の評価 検討委員会	6、10、3月	山口県のサービス自己評価の様式を用い、1年間サービスの質の向上の為に活動した。
ケア向上委員会	毎月	職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善について話し合いを行った。

入所者の生活の質の向上、サービスを提供する各種職員の資質の向上を図るためリーダーを中心に各職員の意識改革に努めた。

## 9 各種委員会の活動

委員会名	開催月	内容
事故発生・防止委員会	6、9、12、3月	事故予防等の検討を行った。
感染症対策委員会	5、8、11、2月	食中毒やインフルエンザ等の感染症予防等の計画や指針の策定を行った。
身体拘束等防止・監視委員会	毎月	身体拘束の事例の検討等を行った。
褥瘡対策チーム	毎月	入所者の褥瘡の状況について確認し、対応策の協議等を行った。
食事内容の検討会議	4、6、8、10、12、2月	食事内容の検討を行った。
医療的ケアの安全対策委員会	5、7、9、11、1、3月	痰の吸引、嚥下状態等について確認・協議した。

感染症については疥癬があったため、マニュアルを見直し二次感染の予防に努めた。

身体拘束防止・監視委員会では、入所者本位という意識を深めるため、実際に車椅子上で過ごして入所者の気持ちを体験した。



10 研修会の参加(主な研修会)

研修名	施設長	事務職員	介護支援専門	生活相談員	看護職員	介護職員	栄養士	介護職員 調理員兼務	合計
老人福祉施設新任職員研修（第2回）						1			1
不在者投票事務研修会		1							1
老人福祉施設レクリエーション研修 （第1回）						1			1
第46回山口県老人福祉施設 相互研修会		1			1	1			3
山口県老人福祉施設リーダー研修会						1			1
老人福祉施設給食担当職員研修							1		1
社会福祉法人会計研修会Ⅰ		1							1
老人福祉施設新任職員研修 （フォローアップ研修）						1			1
老人福祉テーマ別研修 「職員が育つ職場環境づくり」						1			1
総会（第2回）・施設長研修会	1								1
社会福祉法人会計研修会Ⅱ		1							1
合計	1	4	0	0	1	6	1	0	13

上記の研修項目に加え、全国老人福祉施設協議会主催による介護力向上講習会では、「自立支援」を実現するため科学的介護実践講座開催時に助言者として年間5回出席した。

人員不足により、必要な研修会への参加が実施できなかった。